

都市計画道路補助131号線一方通行保持に関する陳情

(19 陳情第 50 号)

陳情者	受理年月日
■■■■	平成19年9月21日
■■■■	

(要旨)

裏面のとおり

杉並区議会

南口駅前を歩行者として利用する立場の住民として以下の問題点を痛感しているところです。

① 131号線沿い南側歩道は、駅に向かう歩行者、道路沿い商店への買い物客、駐輪自転車、通行自転車、ベビーカー、商品運搬の台車などで、動線は交錯し、終日混雑しており、急ぎ足での通行ははばかれる状態です。

朝・夕の出勤・登下校時間帯には、さらに歩行者が駅に向かって集中し、バス・タクシー・自家用車の送迎・昇降で人間がぶつかり合う状態です。

又、南口エレベーター・南側階段は増設されましたが、エレベーターは小さいため、ほとんどのお年寄りは横断歩道を渡ってエスカレーターを利用しています。

② 自転車で通行する立場からはさらに問題点が増えます。

荻窪駅前、及び東西方向の131号線の線路側車線、南面車線ともに常時相当数の商用と思われる車輛が駐車しており、歩道の混雑を避けて車道を走行しようと試みても危険な状況で不可能です。

タクシー乗り場の客待ち車輛は並びきることができず、周辺道路を迂回、循環していて、結果的に、周辺生活道路の交通量を増やしています。

バス停留所前では、バス車体の前後から横断を試みる人、タクシーをつかまえようと車道にせり出してくる人、盲人もいますが、常に見られることです。

③ 131号線に南北に交差するすずらん通り、仲通り他の複数の道路、及びそれと交差する複数の東西方向道路上には駐輪・駐車が非常に多くみられます。多くは商品、荷物の搬出・入ですが、南口一带に集中する、診療所・治療院へ通院するお年寄りの送迎は、これらの駐車車輛が有って、通行を妨げているため、病身のお年寄りがかなりの時間、診療所前で待たざるを得ない状況です。

④ 一带には、保育園・保育所・幼稚園・学習塾が集中しています。商店街を通過しなければこれらの施設には到着できませんが、駐車・通行する商業車・タクシー・ごみ回収車等のすれ違い、まさにスキ間をぬう様に、保母が幼児の手をひきながら、乳母車を押しながらの「お散歩」は危険そのものです。現在の通行量さえ削減・規制するべきだと思えるのです。

今後は高齢化社会に伴い、車椅子の通行量もグンと増えることでしょう。車椅子駐車場が必要となることでしょう。

上記の如く、日常的に利用している住民として、131号線の通行車輛が増えることのないよう、むしろ高齢化社会を見据え、生活優先・歩行者優先の原則を貫く駅周辺街づくりをすすめられることを要望いたします。

131号線の一方通行の保持を重ねて要望いたします。